

## はしがき

本論集は、2015年に発足した早稲田大学地域・地域間研究機構（現機構長：弦間 正彦）が、地域間研究を志す若手研究者の研究交流を支援する目的として行った2017年度の教育事業の成果報告書である。

本年度の若手国際シンポジウム「The Global History of People/The Political Science of Transitional Justice」では、グローバルヒストリーと政治学という2つの分野から不正義と権力というテーマに迫った。時代も、地域も、手法も異なる若手研究者が一堂に会して、普段は接することのない他分野の研究成果に触れ、基礎的な質問から専門的な確認まで活発な意見交換を行うことができた。当機構は今後もこのような企画を通して、国境や言語を超えた若手研究者ネットワークを強化していく予定である。なお、本年度に実施した若手研究者向けの研究会・シンポジウムの詳細については、本論集の巻末に掲載した。

当機構の若手研究者向けの論集である『次世代論集』は第3号をかぞえる。本号を刊行するにあたって、本機構に所属する、あるいは関係ある若手研究者から多数の投稿をいただいた。本誌に掲載されているのはそれらのなかから査読の結果採択された論考である。なお、投稿を希望する論文や研究ノート、書評は常時受け付けている。ご関心のある方は、巻末にある執筆要領をご覧ください。

本論集の刊行にあたり、国内外の研究者の方々には多大なご支援をいただいた。また、当機構の山本健一郎事務長をはじめとする事務スタッフの支援も頂いた。この場を借りて深く感謝の意を表したい。

2018年3月

早稲田大学 地域・地域間研究機構  
「次世代フォーラム」事務局  
(ORIS 研究員：鈴木恵美、野口真広、吉沢晃、  
マニュエル・ヤン、上地聡子、安井清峰)